

水防訓練の実施

青梅市

青梅市では、毎年6月の最終週に土砂災害対応訓練および水防訓練を実施しています。水防訓練は青梅市消防団と青梅消防署が合同で実施し、今回はロープワーク訓練後に、積み土のう工法、鋼板防護工法、連結水のう工法の3工法について、消防署の指導の下、消防団が水防技術の習得に努めました。



○平成30年7月豪雨被災地への災害派遣報告

福生市からは平成30年7月25日から同年8月2日までの間、職員1名が災害派遣として岡山県真備町に出向しました。現地では主に避難所運營業務を担いました。その経験を自治体内で共有し、公助としての備えに活かすだけでなく、市民とも共有し自助、共助につなげていただくために、平成30年9月20日に各町会が集まる会議の場において、災害派遣報告を行いました。また、平成31年1月18・19日に市内で開催した防災啓発事業の場においても、写真を活用したパネルを用いて、展示を行いました。

○防災マップの改定

現行の「福生市防災マップ 多摩川洪水・内水ハザードマップ」については、平成25年度に改定したものであり、浸水想定区域等の内容が一部古いまま掲載がされています(ハザードマップ単独では新しい基準にて作成したものを、平成29年度に市内全戸配布済み)。防災マップ・ハザードマップについては、市民の避難行動への備えとして有効な媒体の一つであるため、減災対策として、平成30年度中に改定を行い、市内全戸配布を行う予定です。

災害派遣報告の写真



水防訓練の実施

- ・水防訓練で多摩川洪水浸水想定区域内の市民に洪水・土砂災害ハザードマップの周知や水害対策の説明及び訓練を行った。
- ・水害に備え、日頃から避難場所の確認をすることや非常用備蓄品の準備をすること、大雨の際の情報収集や早めの避難について意識啓発することができた。
- ・水害時の応急活動に役立てるため、積み土のう工法や簡易水防工法の訓練を行った。



取組主体：
羽村市、第九消防方面

取組参加機関：
各町内会、福生消防署、
羽村市消防団、福生消
防女性の会、(福)東京
武尊会羽村園 等



○主な訓練内容は、要配慮者避難訓練（特別養護老人ホーム福楽園での避難訓練）、水防工法訓練（あきる野市消防団等による積み土のう工法等の訓練）、ドローン物資運搬訓練（孤立集落を想定し、自立飛行による物資運搬訓練）、救出救助訓練（消防署、警察署等によるヘリコプター等を活用した救助訓練）等を実施した。



河川監視カメラの設置

日の出町

○平井川へ河川監視カメラを設置し、水位の状況を役場パソコンで監視を開始した。
設置場所 日の出町平井4118番地(平井・生涯青春ふれあい総合福祉センター内)



檜原村・あきる野市・日の出町・秋川消防署合同水防訓練の実施

日時 平成30年 5月13日(日) 午前9時～午前11時

場所 日の出町平井川柳橋下流 檜原村消防団 シート張り工法及び連結水のう工法実施



- 奥多摩町役場と奥多摩病院の間で、大雨による災害に対する訓練を実施。
 - 大雨等による土砂災害の危険に備えた避難情報の連絡体制、連絡方法の確認
 - 垂直避難の訓練。車いすを階段で移動する方法を確認

【 情報連絡訓練 】



・内容

奥多摩町役場(防災担当)から奥多摩病院へ雨量の状況毎に気象情報、避難情報を伝達。病院内では状況毎の対応を院長から職員へ指示。

【 垂直避難訓練 】



・内容

病院内でエレベーターが使用できない状況を想定し、人が乗った状態の車いすを人の力だけで階段を移動させる方法を確認。

防災教育等の充実

瑞穂町

瑞穂町では、地域等の防災力の強化・防災意識の向上を目的として、町の防災関係職員が軽易に地域等に出向き、町の特性を踏まえた防災教育などを、年間を通じて臨機に行っています。

自主防災組織(町内会)等



自主防災組織(町内会)計画の訓練に伴う講話



小規模な防犯・防災に関する寄合レベルでも、地元警察と連携して軽易に実施

社会福祉協議会との連携



在住外国人対象の防災教育



福祉関係者対象教育

講話の他(アドバイザー参加)
○ボランティアセンター運営訓練
○町内高齢施設防災図上演習
などに参加

防災教育等の充実

瑞穂町

学校等(小・中・高校生及び保育士)の教育支援

学校等からの要請により防災講話や総合的な学習の支援を行っています。
平成28年の台風により、高校及び中学校も土砂災害の被害にあいました。
当時の生徒は卒業しましたが、被害を受けたと云うことを風化させないよう配慮
しています。



都立高校正門



瑞穂中学校横



都道5号(新青梅街道)

都立瑞穂農芸高校

1年生約150名



瑞穂中学校

全校生徒約800名



園長・保育士

町内保育士等約90名



防災教育等の充実

瑞穂町

総合的な学習の時間の支援

瑞穂第三小学校からの要請により、総合的な学習の時間の支援を行いました。「地域の方々に少しでも、防災に関して関心を持って頂くために」という目的で、楽しみながら学ぶというテーマでの「防災祭り」を児童の発意で行うこととなり、地元消防、自衛隊の協力を得て、足掛け5ヶ月にわたり支援しました。

学習支援(見学・質問対応)

10月



11月



防災祭り検討会

12月



事前訓練

10月・2月



防災祭り(2月18日及び2月25日)

AED訓練



訓練展示



防災クイズ



自衛隊も協力



VR車も参加

全校生徒の他、保護者、地元自主防災組織会長他、消防団長、町議会議員も参加
一生懸命、実施している児童の力は大きい。(子供たちの関心は、大人の関心に広がった。)

防災教育等の充実

瑞穂町

防災関係職員等の教育訓練等

人事異動に伴う担当職員への災害対策本部開設訓練・災害情報処理訓練や役場内各部課の職員に対する訓練、消防団員に対する講話などを行っています。

災害情報処理訓練等



職員訓練・教育



消防団幹部教育支援



今後の課題(方向性)

瑞穂町は、災害が少ないと言われる町ですが、それが故に、ややもすると防災意識が希薄になる恐れがあります。自主防災組織は、町内40個団体ありますが、意識も高く毎年訓練等の活動を行っている団体は十数個団体であり、今後、未活動団体の活性化や町民の防災意識の維持・向上に努めたいと考えています。